

【集合研修】「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」

(東京医療センター)開催のご案内

本集合研修は新指針「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針(平成 29 年 12 月 1 日付け健発 1201 第 2 号厚生労働省健康局長通知)」に準拠した緩和ケア研修会です。

平成 30 年度より緩和ケア研修会は、「厚生労働省 e-learning」と「集合研修(本研修)」で構成され、双方の修了をもって、緩和ケア研修会修了となり、厚生労働省から修了証書が授与されます。

未修了の皆様は奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

主催	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
日時	令和 5 年 8 月 5 日(土) 9 時 00 分～17 時 30 分(受付開始:8 時 30 分～)
場所	独立行政法人国立病院機構東京医療センター 外来棟 3 階 大会議室 東京都目黒区東が丘 2-5-1
対象者	がん等の診療に携わる医師・歯科医師、看護師、薬剤師、SW などの 緩和ケアに従事する医療従事者 ※集合研修受講前に各自で e-learning を受講し修了証書を提出できる方、 且つ、開催日において e-learning 修了後 2 年以内の方 【e-learning 受講サイト】 https://peace.study.jp/rpv/
集合研修プログラム	別紙 1 のとおり
定員	24 名
参加費	無料(昼食、交通費は受講者の負担となります)
申込期限	令和 5 年 6 月 15 日(木) ※①～③の優先順位で定員に達し次第、締め切らせていただきます ①東京医療センターの医師・歯科医師などの医療従事者 ②医療圏内の医師・歯科医師などの医療従事者 ③医療圏外の医師・歯科医師などの医療従事者
申込方法	当院ホームページより「参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記載した申込書を添付のうえ、メールにてお申込みください。 申込確認のメール(1～2 週間後)にて受講決定のご連絡をいたします。 【東京医療センター ホームページアドレス】 https://tokyo-mc.hosp.go.jp/profession/training_lecture.html
申込・連絡先	独立行政法人国立病院機構東京医療センター がん診療支援室 ※「厚生労働省 e-learning」修了証書提出先 E-mail: 215-ntmcgankyoten@mail.hosp.go.jp 電話:03-3411-0111(内線 5297) FAX:03-3411-0958

※開催時の状況により、Web 開催となることがあります。予めご承知おき下さい。

集合研修進行表(予定)

別紙1

集合研修の名称：がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(東京医療センター)

2023年8月5日(土) (9時00分～17時30分)

開始時間	終了時間	所要時間	研修内容	対応する開催指針の項目番号	備考	担当者	グループワーク協力者
9:00	9:15	15	開会・開催にあたって			川口 義樹	
9:15	10:30	75	e-learningの復習・質問	① e-learning で学習した内容の復習及び質問等		川口 義樹	
10:30	10:40	10	休憩				
10:40	12:30	110	アイス・ブレッキング／ 全人的苦痛に対する緩和ケア	② グループ演習 ア 全人的苦痛に対する緩和ケア (チームアプローチによる観点を含む。)		川口 義樹 / 宮田 知恵子	
12:30	13:20	50	昼食・休憩				
13:20	14:35	75	療養場所の選択と地域連携	② グループ演習 イ がん患者等の療養場所の選択、 地域における連携、在宅における緩和ケアの実際		大橋 晃太	
14:35	14:50	15	がん患者等への支援	④ がん体験者やケア提供者等からの講演、又は集 合研修の実施主体や実施主体と連携する施設等にお いて取り組まれているがん患者等への支援		草野 愛	
14:50	15:00	10	休憩				
15:00	17:05	125	コミュニケーション	③ ロールプレイングによる演習 ア がん等の緩和ケ アにおけるコミュニケーション(患者への悪い知らせの 伝え方、がん等と診断された時から行われる当該患 者の治療全体の見通しについての説明や患者の意思 決定支援を含む。)		新福 正機	
17:05	17:10	5	休憩				
17:10	17:30	20	ふりかえりと修了式			川口 義樹	

総集合研修時間	435 分(7時間 15分)
---------	------------------

1) 「がん患者等の療養場所の選択、地域における連携、在宅における緩和ケアの実際」(開催指針の項目番号(2)②イ)の演習については、地域連携や在宅医療等に携わる者と共に地域の状況や多職種連携を反映することが望ましい。

2) 「がん等の緩和ケアにおけるコミュニケーション」(開催指針の項目番号(2)③ア)の演習については、精神腫瘍学指導者研修会修了者及びがん告知に関する経験が豊富な緩和ケア指導者研修会修了者と共に行うことが望ましい。